

令和 7 年度 予算概要

都市空間情報デジタル基盤構築調査 調査 **11.4億円(1.03倍)**

都市空間情報デジタル基盤構築支援事業 補助 **11.7億円(1.07倍)**

5. まちづくりDX

(1) 3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化の推進

※令和6年度補正予算 都市空間情報デジタル基盤構築調査 調査 4.0億円。合計**15.4億円 (1.40倍)**
都市空間情報デジタル基盤構築支援事業 補助 1.1億円。合計**12.8億円 (1.17倍)**

Project PLATEAUでは、2020年から全国で3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を推進している。

本プロジェクトは5年目を迎え、実装フェーズへ移行したことを踏まえ、3D都市モデルの整備・活用の更なる効率化・汎用化や、防災、暑熱対策等の社会的必要性が高い分野におけるユースケースの開発といった基幹的施策を重点的に進める。また、2027年整備目標500都市に向けて、地方公共団体における3D都市モデル整備等及び民間サービス実装等への支援を拡充する。

都市空間情報デジタル基盤構築調査

国によるPLATEAUを駆動させていくための基幹的施策

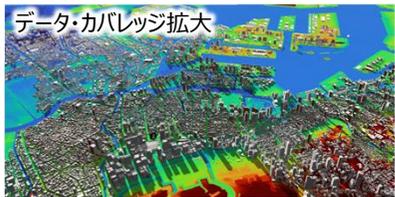
- | | | |
|--|---|---|
| 1 データ・カバレッジ拡大
モデル整備作業の自動化・効率化、データ形式標準最新化に向けた実務検討 | 2 ユースケース開発
防災、暑熱対策ユースケース開発、外部機関との連携強化、開発ツールの汎用化 | 3 コミュニティ形成
ナレッジ共有やネットワーキングのためのコミュニティ形成、若年層へのアプローチ強化 |
|--|---|---|

国による各主体の役割を円滑化・促進する環境整備施策

- | | | |
|---|---|---|
| 4 民間/自治体での実装
実装レベルのサービス開発・事業化・提供の促進、ニーズシズマッチングの支援 | 5 地域のデジタルケイバ向上
自治体業務でデータが活用できる人材の育成、地場企業へのモデル整備技術普及 | 6 オープン・イノベーション創出
新技術開発やデータ利用環境向上、初心者向けデータ処理技術のOSS開発 |
|---|---|---|

産学官連携によるエコシステム構築

自律的な実装を推進する、国、地方公共団体、産業界、研究機関の連携体制の構築



データ・カバレッジ拡大
整備都市拡大のための効率化やBIM等との連携を推進し、標準仕様CityGML3.0への転換も検討



地域のデジタルケイバ向上
地方公共団体へ3D都市モデルを活用した課題分析や政策検討の研修、地場企業へモデル整備研修を実施

都市空間情報デジタル基盤構築支援事業

3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を推進するための地方公共団体等への支援

補助タイプ・補助率

【地方公共団体向け】

広域連合や一部事務組合等を対象に追加

拡充

- 通常タイプ 定率1/2
- 早期実装タイプ 10/10 (上限1,000万円)

■ 間接補助

地方公共団体が民間事業者等に行う補助に対する補助事業

拡充

定率1/2 (地方公共団体の補助額) 又は
定率1/3 (全体事業費) の低い額

【民間事業者等向け】

拡充

■ 民間サービス実装タイプ

民間事業者等による3D都市モデルの活用に関する事業に対する補助事業

● 補助対象団体

民間事業者等 (営利法人、NPO法人、一般社団法人、一般財団法人 等)

● 補助率

定率1/2 (上限5,000万円)

補助対象事業

- 3D都市モデルの整備に関する事業
- 3D都市モデルの活用に関する事業
- 3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化推進事業

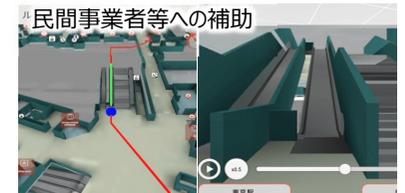
地域への実装イメージ



地方公共団体への補助
3D都市モデルとハザード情報を重畳し、住民の防災意識の啓発や避難行動の変容を促進 (愛知県豊田市)



3D都市モデルをマイクラフトデータに変換し、子どもたちが未来のまちを考えるコンテストを実施 (埼玉県さいたま市)



民間事業者等への補助
3D都市モデルを活用した民間サービスやソリューションの社会実装 (例：ナビゲーションシステムの開発 等) を促進

5. まちづくりDX

(2) スマートシティの実装化および海外展開の推進

※令和6年度補正予算 スマートシティ実装化支援事業 補助 0.2億円。合計2.6億円 (1.05倍)

スマートシティ実装化支援事業 補助 **2.4億円(0.97倍)**

スマートサービス海外展開調査 調査 **0.3億円(1.00倍)**

AIや3D都市モデルを含めたデジタル技術の活用により都市の諸課題を解決し、新しい価値を創出する「スマートシティ」を実現するため、先進的な都市サービスの実証事業として、特に、国として戦略的に取り組む政策分野のスマートシティ施策を重点的に支援する。

また、デジタル技術等の活用は、海外における都市課題に対しても全体最適化が図れる方策と考えられるところであり、日本企業の海外展開を推進するため、データ・デジタル技術を活用した海外における都市開発の展開手法の調査を実施する。

スマートシティ実装化支援事業

■ 事業概要

○スマートシティ実行計画に基づく先端的技術等を活用した先進的な都市サービスの実装化に向けて取り組むコンソーシアム※の実証事業を支援。

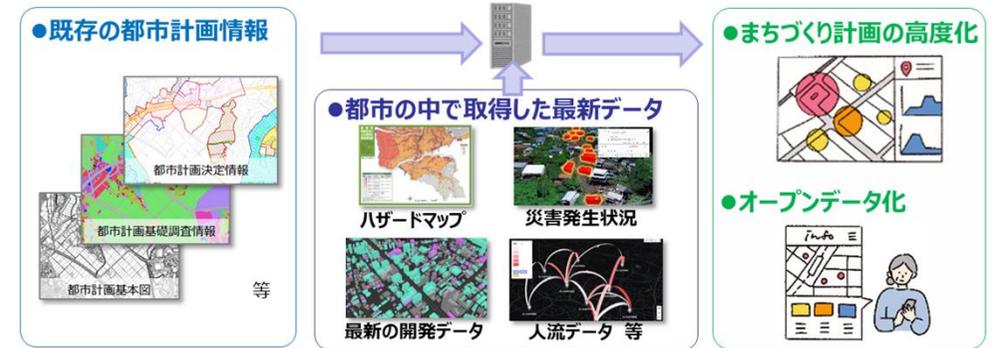
※民間事業者・地方公共団体を構成員に含む団体

○従来の「通常タイプ」「都市サービス実装タイプ」に加えて、国として戦略的に取り組む政策分野のスマートシティ施策の開発・実証・実装を重点的に支援する「戦略的スマートシティ実装タイプ」を追加。

- | | | |
|--------------------------|-----|-------------|
| ■ 戦略的スマートシティ実装タイプ | 定額※ | (上限5,000万円) |
| ■ 都市サービス実装タイプ | 定額※ | (上限3,500万円) |
| ■ 通常タイプ | 定額※ | (上限1,500万円) |

※実行計画に基づく取組のコンソーシアム負担額が国の補助額を上回ること

■ 戦略的スマートシティ実装タイプのイメージ



災害リスク情報等を含めたまちづくり計画のデジタル化

スマートサービス等を活用した都市開発の海外展開に向けた調査

【目的】

・都市課題に対応するためのデジタル技術と都市開発のノウハウを相互促進的に発信することにより、日本政府・企業が行う都市開発に対する新興国等の関心を高める。

○ タイ・バンコクのクルンテープ・アピワット中央駅周辺地域の3D都市モデルを活用した渋滞・混雑緩和等のシミュレーションを実施し、当該地域における交通等の課題解決策を検討する。この動きにより、当該地域の開発事業への我が国企業の参画を促進する。

○ 令和7年度は、新たにインドネシア・ジャカルタのTOD候補地区の3D都市モデルを構築し、活用を図る。

【想定対象地区】



クルンテープ・アピワット中央駅周辺 (タイ・バンコク)

(タイ政府広報局ホームページより)



3D都市モデルPLATEAUを活用した交通シミュレーション